

北九州市における気候変動適応の取組

1 適応に関する計画

平成 28 年 8 月に策定した「北九州市地球温暖化対策実行計画・環境モデル都市行動計画」において、「気候変動への適応策」を定めている。

平成 27 年 11 月に公表された国の「気候変動の影響への適応計画」を参考に、温暖化に伴う代表的な影響とその評価及び基本的な取組方針を、本市の地域特性を踏まえて抽出している。併せて、各分野における本市の取組を記載している。

分野	主な取組
農業・水産業	稲の高温耐性品種の導入推進、赤潮対策事業
水環境・水資源	公共用下水道事業、下水処理水の再利用
自然生態系	荒廃森林再生事業、港湾環境整備事業
自然災害・沿岸域	河川事業、防災ガイドブックの作成
健康	救急医療体制の維持・確保、熱中症予防の普及啓発
市民生活・都市生活	緑化の推進、透水性舗装の導入、クールビズ

2 適応に関する主な取組

【自然災害・沿岸域】

○河川事業

豪雨等による河川の氾濫防止、流域の災害に対する安全性向上のため、河道や護岸の整備を行っている。

○海岸事業（高潮対策事業）

過去に高潮被害のあった本市門司区の白野江地区、新門司地区等において、既存護岸の嵩上げや消波ブロックの設置等の護岸整備を行っている。

○防災ガイドブックの策定

避難の心得やさまざまな災害の特徴、備えるべき災害を確認するためのハザードマップなどを掲載した「北九州市防災ガイドブック（生き抜く術の心得帖）」を配布し、災害時の避難等に活用できるようにしている。



新門司地区における護岸整備状況



防災ガイドブック（土砂災害）

【健康】

○熱中症予防に関する啓発

市政だより、ホームページ、チラシ、動画等による熱中症予防の啓発や福岡県防災メール「まもるくん」等の暑さ指数が配信されるサービスの周知を行っている。また、令和元年7月1日より、ウォーキング等による健康増進のためのアプリ「GO!GO! あるくっちゃ KitaQ」で暑さ指数の情報を配信している。



顔アイコンをタップすると「熱中症予防のための運動指針」の説明が表示される。

スマートフォンアプリ「GO!GO! あるくっちゃ KitaQ」

【市民生活・都市生活】

○ライフスタイル改善に向けた取組、自動車の効率的利用等

打ち水、緑のカーテン、省エネルギー製品の導入、クールビズ、エコドライブ等の取組を、国が推進する国民運動「COOL CHOICE」と連携し推進している。



北九州市打ち水大作戦



緑のカーテン（苗を植える園児）

3 地域適応コンソーシアム事業

平成29年度より、ため池の数が福岡県内で最も多い北九州市をモデルとして、水害リスクの評価及び適応策の検討が行われており、本市も事業実施に協力している。

4 気候変動適応に関する庁内講演会

庁内での気候変動適応に対する理解の促進のため、平成29年度より、環境省、気象台、大学、環境コンサルタント等を講師に迎え、気候変動適応に関する職員向けの講演会を開催している。